



〔遠藤〕 振り込め詐欺などの特殊詐欺が、世間をにぎわして久しいような感があります。警察発表や報道される被害は、実際の被害件数を下回っていると言われます。「家族に詐欺被害に遭遇した事実がわかると叱られる」「被害金額が少なかつた」「詐欺にあつたことを知られるのが恥ずかしい」など、様々な理由があるようですが――。齋藤さんにその辺りを聞いてみたいのですが――。

〔齋藤〕 振り込め詐欺対策は、私たち警察も正直悩んでいます。防御法を考えても、犯人らがそれを打ち破つてくるといふ馳（よこ）こころです。最初の頃は銀行に依頼し、大金を振り込もうとする高齢者にストップをかけて防ぐ方法が有効でしたが、今ではそれがかいくぐって、被害者に直接手渡しさせたり、家に取りにくるまでにエスカレートしています。銀行が危ないと察知すると、今度はタンス預金を狙ってくるなど、手口はますます巧妙になっています。

また、村瀬さんの話にあつたように、警察でも、高齢者の虐待は大きな問題として捉えています。昔は「親子げんか」の範疇（はんちゆう）としていたものも、いまは社会問題として捉えています。警察では、高齢者の虐待事案はいままで家庭内で埋もれていたものが表に出た、また、社会全体が高齢者の虐待を問題視し始め取り扱件数が増えたと分析しています。社会の関心度が高い今、体制を整備し、町、自治体、警察が連携を深め、見守り活動を行い、高齢者虐待事案に歯止めをかける施策を講じておくべきと考えています。

〔石附〕 警視庁が進めていた「電話貸出制度」の後はいかがなのでしょう。非常に効果を上げたと言われていますが――。

〔齋藤〕 現在も貸出制度は継続しています。

〔石附〕 神奈川県警では、振り込め詐欺対策コールセンターの活用により、大きな成果を上げたそうで

す。振り込め詐欺の多くは、犯罪者が学校の卒業名簿などを入手し携帯電話を使って高齢者宅に電話を掛けまくっています。コールセンターでは、Aさん宅に不審な電話がかかってきたという情報を基に、即、Aさんと同じ地区の卒業生に、「怪しい電話がかかってくるから注意するように」と、犯罪者より早く注意喚起の電話をかけ、詐欺被害を未然に防いでいます。

昨年、振り込め詐欺犯が、高齢者に金の受け渡し場所を指定し、大金を運ばせた上、これを強奪するという事件が数件発生しました。振り込め詐欺犯が、「強盗犯」にエスカレートしたのです。単なる金銭犯から、身体侵害犯罪に変身したことに注意すべきです。

振り込め詐欺などの特殊詐欺は組織犯罪であり、高齢者個人の力ではこれに対抗できません。高齢者に対する地域での「見守り、注意の声かけ、相談支援」「受信電話の改良」など、あらゆる対策を連動させて、組織犯罪勢力に対抗しうる安全活力を、警察や民生委員、YCの皆様など地域ぐるみで構築する必要があります。また、組織犯罪への新しい捜査手法の開発が急がれます。

〔鍋倉〕 Y防協の高齢者を対象とした防犯セミナーは、講師がユーモアや笑いを交え、緊張感を解きほぐしながら進めます。腹話術人形を使うセミナーは、大人気です。場合によっては、聴講する高齢者の方をステージに上げ、その方を腹話術人形に見立て、振り込め詐欺電話の掛け合いをするなど、記憶に留めやすい方法を取り入れています。

今後、YCの関わるセミナーのあり方については、敬老会、町内会などとの関わりを深く持ち、多岐にわたる要望に応えられるY防協事務局作りが必要と考へており、その要望を引き出す役割をYCが担ってほしいと考へます。引き続き、YCとの協力関係を基本に防犯セミナーの実施に力を入れていきたいと考へています。

〔遠藤〕 貴重なご意見、ありがとうございます。昨今、新聞は中高年齢層が購買層の主力です。新聞販売店と読者の関係は、そのまま地域との関係に置き換えられるようになるものと思われれます。そこで皆様にお聞きします。超々高齢社会の中で、新聞販売店ができる地域貢献についてお聞きしたいと思ひます。当然、これまで通り新聞配達業務や集金業務中の見守り活動や防犯情報の発信など、継続することに変わりはありません。が、しかし、もう少しこうした方がいいとか、こうすることはできないかなど、ごさいませんでしょか。

■ 超々高齢社会の中で、新聞販売店ができる地域貢献について――

〔鍋倉〕 私は日頃からYCのできる地域貢献活動は二つあると考へています。一つは、防犯セミナーの継続実施です。二つ目は見守り活動ですが、新聞販売の歴史は、わが国特有の戸別配達制度に支えられて来ました。自店エリアの隅々まで、実に効率的に配達できる順路を作つて、1分1秒を争う速報が掲載された新聞を140年を超える長い間、読者の元へと届けています。

この配達順路というのは面白いことに、経営者が変わつても、配達員が変わつても、町の構造に大きな変化が起きなければ、ほぼ変わらないという特性を有します。まさしく「人の知恵」が生み出した効率化です。それゆえ、YCが取り組む見守り活動は高齢化の進行する現代社会において非常に重要です。毎日ほぼ同時刻にほぼ同じ場所を通過するわけですから、パズルのピースが変われば、誰よりも先に気づくわけです。ここに見守り活動の重要性を訴えたいと思ひます。